

日本学術会議
地域研究委員会 地域研究基盤強化分科会
(第24期・第1回)
議 事 録 要 旨

1. 会議名 地域研究委員会地域研究基盤強化分科会 (第24期・第1回)
2. 日 時 平成29年12月22日(金) 10時00分～12時00分
3. 会 場 日本学術会議 5-C(2) 会議室

【出席者】宇山智彦、木宮正史、久保広正、窪田幸子、栗田禎子、河野泰之、小長谷有紀、酒井啓子、桜井啓子、関根政美、高橋裕子、高見澤磨、宮崎恒二、山本博之、西崎文子、武内進一、高倉浩樹、吉村真子

【欠席者】石田勇治、大串和雄、遅野井茂雄、川島真、貴志俊彦、黒崎卓、竹沢泰子

【議 題】

(1) 役員を選任

- ・西崎文子(委員長)、武内進一(副委員長)、高倉浩樹(幹事)、吉村真子(幹事)

(2) 前期(23期)の活動報告(西崎文子委員長)

- ・公開シンポジウムや成果の刊行などを行った。
- ・提言・報告書についての議論も含め、今期の活動に継続。

(3) 今期の活動計画

- ・「変動する世界と地域の理解に向けて(仮題)」について、宮崎恒二委員から説明。提言・報告書への準備と議論のたたき台とする。
- ・地域研究の意義と役割、地域研究の進め方、ネットワーク化の課題、研究資源の蓄積や構築、情報発信体制の整備、教育や社会貢献など。
- ・地域研究の社会貢献や期待される効果、キー・コンセプトの示し方(「共生」「相互理解」など)、教育と学位、理系との連携の強化、国内外の教育機関の単位互換や合同学位の連携、教育のグローバル化・国際連携、「資格」、制度の改定と予算措置、日本のプレゼンス、国際情勢と「ヘイト」、政策決定の主体の多様性、官公庁やNGOs/NPOsとの連携など。
- ・提言・報告書に向けて、議論を重ね、準備を進めていく。

(4) その他

以上